

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和7年2月21日(2025.2.21)

【公開番号】特開2023-141609(P2023-141609A)
 【公開日】令和5年10月5日(2023.10.5)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-188
 【出願番号】特願2022-48012(P2022-48012)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【FI】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和7年2月13日(2025.2.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を実行し、有利状態に制御可能な遊技機であって、
可動体と、

可動体制御手段と、を備え、

通常状態と、該通常状態よりも有利な特別状態と、があり、

所定表示領域に前記有利状態に関する所定表示を表示可能であり、

特別表示領域に前記特別状態中に態様が変化可能な特別表示を表示可能であり、

前記所定表示領域における前記有利状態に関する所定表示は、前記特別状態中に態様が変
化せず、

30

前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認
するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、

前記確認動作制御は、前記特別表示領域に対して、前記所定表示領域よりも前記可動体が
重畳しないように該可動体を動作させる制御であり、

電源投入がされたときに、特定識別情報の可変表示の結果を示す複数の発光手段の制御で
ある特定識別情報発光制御を行うことが可能な遊技制御手段をさらに備え、

前記可動体制御手段は、前記特定識別情報発光制御が開始された後に前記確認動作制御を
開始することが可能であり、

破片画像を表示し、前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり
—

40

前記所定演出における前記破片画像の表示パターンとして、割れ前兆画像を表示した後に
前記破片画像を表示する第1パターンと、該割れ前兆画像を表示することなく前記破片画
像を表示する第2パターンと、があり、

前記第1パターンにおいて前記破片画像が表示されたときに、該破片画像に対応する所定
音を出力する一方、前記第2パターンにより前記破片画像が表示されたときに、該所定音
を出力しない、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

50

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

請求項 1 に記載の遊技機は、
可変表示を実行し、有利状態に制御可能な遊技機であって、
可動体と、
可動体制御手段と、を備え、
通常状態と、該通常状態よりも有利な特別状態と、があり、
所定表示領域に前記有利状態に関する所定表示を表示可能であり、
特別表示領域に前記特別状態中に態様に変化可能な特別表示を表示可能であり、
前記所定表示領域における前記有利状態に関する所定表示は、前記特別状態中に態様に変化せず、
前記可動体制御手段は、電源投入がされた場合、前記可動体が正常に動作することを確認するための動作により該可動体を動作させる確認動作制御を行うことが可能であり、
前記確認動作制御は、前記特別表示領域に対して、前記所定表示領域よりも前記可動体が重畳しないように該可動体を動作させる制御であり、
電源投入がされたときに、特定識別情報の可変表示の結果を示す複数の発光手段の制御である特定識別情報発光制御を行うことが可能な遊技制御手段をさらに備え、
前記可動体制御手段は、前記特定識別情報発光制御が開始された後に前記確認動作制御を開始することが可能であり、
破片画像を表示し、前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり、
前記所定演出における前記破片画像の表示パターンとして、割れ前兆画像を表示した後に前記破片画像を表示する第 1 パターンと、該割れ前兆画像を表示することなく前記破片画像を表示する第 2 パターンと、があり、
前記第 1 パターンにおいて前記破片画像が表示されたときに、該破片画像に対応する所定音を出力する一方、前記第 2 パターンにより前記破片画像が表示されたときに、該所定音を出力しない、
ことを特徴としている。

10

20

30

40

50